

まとめてみよう！

## 1 綱吉と白石の政治 104ページ

- ・5代将軍<sup>①</sup>の時代は、<sup>②</sup>時代とよばれる  
このころ、幕府の財政が苦しくなった
- 犬などを極端に保護する<sup>③</sup>が出され、人々の不満が強まった
- <sup>④</sup>は、6代・7代の将軍に仕えた儒学者  
物価の安定に努め、長崎での貿易を制限して、金銀の海外流出を防ごうとした  
この政策を正徳の治という

## 2 政治の立て直しとゆらぐ封建社会 105・106ページ

- (1) 享保の改革……紀伊藩出身の8代将軍<sup>⑤</sup>  
大名に米を納めさせる代わりに参勤交代をゆるめる<sup>⑥</sup>  
<sup>⑦</sup>を行って耕地を増やし、年貢の割合を引き上げる  
<sup>⑧</sup>の栽培をすすめる……青木昆陽  
ききんに備える  
<sup>⑨</sup>に關係のない洋書の輸入を許す  
<sup>⑩</sup>という法律を定める  
裁判の公正をはかるため
- (2) 田沼意次の政治  
<sup>⑪</sup>の経済力をを利用して財政を立て直そうとした  
<sup>⑫</sup>を積極的に認める代わりに、税を取る  
商工業者の組合

- (3) 寛政の改革……老中<sup>⑬</sup>  
幕府の学校で、<sup>⑭</sup>以外の講義を禁止する  
ききんに備えて、村で米をたくわえさせる



### ○ 米沢藩の改革

- 現在の<sup>⑮</sup>県にあった米沢藩は、財政難となっていた。18世紀後半に藩主となった<sup>⑯</sup>は、養蚕業や製糸業をさかんにし、絹織物を藩の特産物として収入を増やそうとした



### ○ 大塩平八郎の乱

- 1837年、天保のききんのとき、<sup>⑰</sup>元役人が大阪で反乱を起こす



## (4) 天保の改革……老中<sup>⑲</sup> が行った改革

- 江戸に出ていた百姓を強制的に帰して、農村の立て直しをはかった
- 物価を引き下げるために<sup>⑳</sup>を解散させたが、かえって経済が混乱した

## 3 学問の発達 107・108ページ

### (1) 儒学の発達

- 幕府は、<sup>㉑</sup>を重んじた  
身分の上下を重んじたので、幕府の支配に都合がよい
- 各藩は、<sup>㉒</sup>を開いて武士に学問を学ばせた

### (2) 寺子屋

- <sup>㉓</sup>で、町人や百姓の子どもたちは、読み・書き・<sup>㉔</sup>を習う

# 練習問題

右の年表を見て、後の問い合わせに答えなさい。

問1  A にあてはまる將軍の名を答えなさい。

問2  B にあてはまることばを次から選んで、記号で答えなさい。

- |        |        |
|--------|--------|
| ア 慶應義塾 | イ 松下村塾 |
| ウ 適塾   | エ 鳴滝塾  |

問3 下線①・④について、次の問い合わせに答えなさい。

1 德川吉宗は、庶民の意見を求めるために  をもうけました。  で提案された内容から採用された政策として、小石川養生所の設置などがあります。  にあてはまることばを答えなさい。

2 松平定信は、江戸の湯島にあった幕府の学校で、朱子学以外の講義を禁止しました。これに対し、江戸時代の町人や百姓が学ぶ民間の教育機関を何といいますか。

3 下線①・④の人物が行ったこととして正しいものをそれぞれ次から選んで、記号で答えなさい。

- |                                    |
|------------------------------------|
| ア 生類憐みの令を出し、動物や捨て子などを保護するように命じました。 |
| イ さきんに備えて村で米をたくわえさせました。            |
| ウ 公事方御定書という法律を定め、裁判の公正をはかりました。     |
| エ 長崎での貿易の拡大に努めたり、株仲間を積極的に認めたりしました。 |

問4 下線②は、『ターヘル=アナトミア』を翻訳して出版されたものです。『ターヘル=アナトミア』はどの国のことばで書かれていきましたか。次から選んで、記号で答えなさい。

- |       |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|
| ア ロシア | イ イギリス | ウ スペイン | エ オランダ |
|-------|--------|--------|--------|

西暦年	おもなできごと
1680年	A が5代將軍になる……⑥
1716年	①徳川吉宗が8代將軍になる ……⑦
1774年	②『解体新書』がつくられる
1783年	③浅間山が噴火する
1787年	④松平定信が老中になる ……⑧
1798年	⑤『古事記伝』がつくられる
1800年	⑥伊能忠敬が各地の測量を始める
1824年	シーボルトが長崎郊外に <input type="checkbox"/> をつくる
1834年	水野忠邦が老中になる……⑨
1837年	⑦大塙平八郎が反乱を起こす

次の文章は、江戸時代に政治改革を行った、4人の人物の主張をそれぞれまとめたものです。これを読んで、後の問い合わせに答えなさい。

(浦和実業学園・一部改題)

**【一】** 私は紀伊徳川家から將軍家に養子に入り、8代將軍となった。幕府の財政再建のために新田開発を奨励し、幕府の年貢収入を安定させ、諸大名に①上米を命じることで、幕府財政を黒字にさせた。私の出した A 令を批判したり、わたしのこととを米將軍などと口にする者もいるようだが、目安箱を置いて庶民の話を聞こうとしたり、度重なる江戸の大火から人々を守るために町火消を組織させたのは私である。

**【二】** 私は10代將軍家治様の信任を得て、旗本から老中に出世した。私の政治をわいろ政治などと呼ぶ者もいるが、私は農業中心であった幕府財政に商業を積極的に取り入れようとしたのだ。B を積極的に認め、幕府の現金収入を増やし、長崎貿易でも儀物とよばれる海産物を C に輸出することで金銀を得ようとした。もちろん農業を軽んじたわけではない。印旛沼の干拓工事は利根川の洪水で失敗したが、浅間山が噴火したころ D のききんが起き、私の政治に対する批判が高まらなければ成功したはずだ。

**【三】** 私は白河藩主である。11代將軍家齊様の信頼を得て老中となった。私の祖父は將軍であったので、祖父にならって改革を断行した。前任者の老中とは私が老中になる前から考え方があわなかった。農村を立て直すため、ききんに備えて村に米をたくわえさせた。さらに、浮かれる民衆には A 令を出し、幕府の学校で学ぶ武士には学ぶべき学問を徹底させた。しかし、私の改革はきびしすぎたようだ。

**【四】** 私は浜松藩主である。②ききんや一揆、打ちこわしによって傾いた幕府を、老中として立て直そうとした。まずは A 令によって、せいたくな菓子や衣服、初物などに浮かれる民衆を引き締めた。また農村を再建するために、江戸に流入した農民を村にかえた。物価を下げるため、B の解散も命じたが、多くの政策がうまくいかなかった。

**問1** 【一】の人物が行った改革を何といいますか。

**問2** 各文章中にある A には同じことばがあてはまります。このことばを答えなさい。

**問3** B にあてはまることばを漢字で答えなさい。

(基 本)

① 江戸幕府は、儒学の中でも特に朱子学を重視しました。その理由を答えなさい。

② 德川吉宗が行った政策がきっかけとなって、蘭学がさかんになりました。この政策は、どのようなものでしたか。

③ 1837年に起きた大塩平八郎の乱は、江戸幕府を驚かせました。それは、なぜですか。

④ 次の狂歌がいおうとしていることを、簡単に説明しなさい。



(発 展)

① 右の写真は、百姓一揆の参加者が円形で署名をした、「からかさ連伴状」です。参加者が円形に署名をしたのは、なぜですか。

（This section contains a large, blank area for writing responses to the questions above, consisting of several horizontal dotted lines for each question.)